

## 令和2年度 第4回牧区地域協議会 次第

日時：令和2年7月21日（火）

午後6時30分から

会場：牧区総合事務所301会議室

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 報告事項

(1)「公の施設の再配置計画」の策定について・・・・・・・・資料No. 1～資料No. 2

※行政改革推進課、施設経営管理室より説明

(2)牧区の概要について・・・・・・・・資料No. 3～資料No. 6

### 4 協議事項

(1)令和2年度牧区地域協議会委員視察研修について・・・・資料No. 7

(2)自主的審議事項について・・・・資料No. 8

### 5 その他（連絡事項）

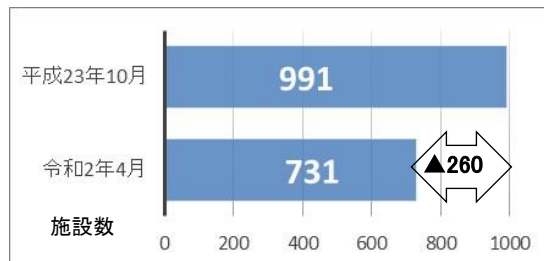
### 6 閉 会

# 「公の施設の再配置計画」の取組について

## 1 公の施設の再配置の取組状況と現状と課題について

### (1) これまでの取組状況

市町村合併後、公の施設の廃止や譲渡を進め、平成23年10月時点で991施設あった公の施設は、令和2年4月1日現在、731施設となっています。



### (2) 現状と課題

#### 現 状

##### ○人口推計

合併当時21万人であった人口は、減少傾向が続いており、令和27年には、推計で約14万人となる見込み。

(R2.4.1現在の人口：190,042人)

##### ○財源不足

市の財政は、歳出が歳入を上回るため、財源不足を基金の取崩しで補う状況が続く見込み。

(R2～R4年度で49.6億円の取崩しを予定しており、また、R5以降においても収支均衡を図る目途がたっていない。)

##### ○公の施設の状況

- 多くの施設の老朽化に伴う、維持管理経費と更新費用増加の見込み。

(今後40年間の維持・更新費用試算額：約4,325億円)

- 合併前の各市町村で進めた施設整備により多くの類似施設を保有している。(温浴施設、体育館など)

#### 課 題

- 人口の減少
- 施設機能の重複する配置
- 施設更新、維持管理に係る財政負担の抑制
- 施設機能の適正な維持
  - \*老朽化する施設に対する計画的な修繕の実施、機能を維持するための複合化(機能集約)

## 2 公の施設の再配置計画（個別施設計画）について

### (1) 公の施設の再配置の必要性

将来予測される人口減少や市の財政状況等を踏まえ、今後、施設の老朽化がますます進行し、大規模修繕や更新が見込まれる中、多くの施設を現状のまま維持していくことは困難な状況です。

このような状況の下、今を生きる私たちは、地域の皆さんと共に、子どもや孫など次代を担う世代が今後も安心して暮らすことができる将来を見据え、教育や福祉を始めとした市民生活を支える基礎的なサービスを安定的に提供していくためにも、施設の廃止や機能の集約を行う必要があります。

また、継続すべき施設については、末永く利用していただくため、適切に維持・管理し、長寿命化を図ることとしています。

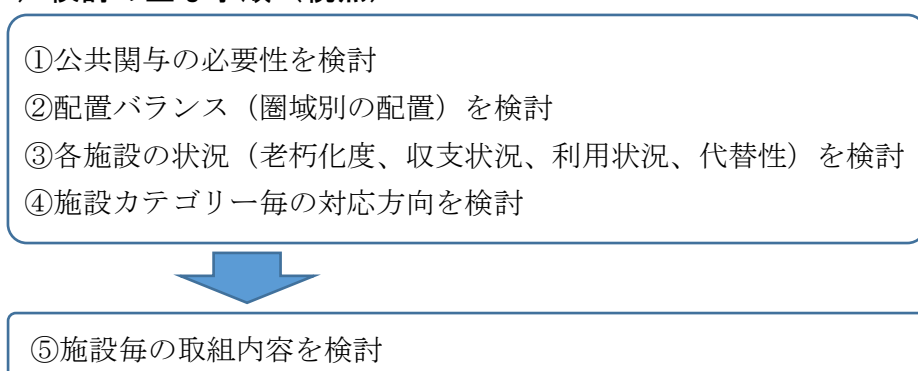
### (2) 計画期間

- 令和3年度～令和12年度の10年間とし、令和7年度に見直しを行います。

### (3) 公の施設の再配置における取組方針

取組方針	具体的な取組
①人口や財政状況を踏まえ施設の配置を検討	廃止（休止） 用途の変更
②地域の実情を踏まえ施設の配置を検討	機能の集約
③利用状況を踏まえ適切な管理者によるサービス提供を検討	民間譲渡 貸付又は譲渡
④長期にわたり利用促進を図るため計画的な修繕等について検討	施設の長寿命化

### (4) 検討の主な手順（視点）



## 3 スケジュールについて

時 期	内 容
H31. 3～	○ 全 28 区の地域協議会に第 6 次上越市行政改革推進計画の策定に伴い行政改革の取組の概要を説明
R1. 10～11	○ 全 28 区の地域協議会に今後の「公の施設の再配置計画」の取組について説明
R1. 12～R2. 3	○ 地域協議会に公の施設の再配置の取組状況を報告 ○ 関係者との協議（利用者、地元町内会、その他影響が想定される団体等） ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 4～	○ 関係者との協議（協議未了の施設）【施設所管課】
R2. 7～9	○ 地域協議会に関係者との協議に基づき作成した再配置候補施設リストを示す。 【行政改革推進課・施設所管課】 ※再配置に伴う課題に対する対応策をあわせて協議し再配置計画に反映
R2. 11	○ 再配置計画（案）の作成【行政改革推進課】
R2. 11～R3. 2	○ 所管事務調査（総務常任委員会）【行政改革推進課】 ○ パブリックコメントの実施（計画案の公表）【行政改革推進課】
R3. 3	○ 公の施設の再配置計画（個別施設計画）策定・公表【行政改革推進課】
<参考> 【計画策定後】 R3. 4～R13. 3	公の施設の再配置の実施 ○関係者と正式協議（方針決定） ○地域協議会に諮問 ➡ 答申 ○市議会で議決 ➡ 施設の再配置（廃止、譲渡等）



# 牧 区 に 関 す る デ ー タ

## 1 国勢調査の結果

### (1) 牧区の人口及び世帯数

	H12	H17	H22	H27
人口（人）	2,991	2,614	2,322	2,001
世帯数（世帯）	927	875	812	717

- ・ H27 国勢調査における上越市の人口は 196,987 人、世帯数は 71,015 世帯であり、市全体に占める牧区の人口は 1.02%、世帯数は 1.01%となっています。
- ・ 牧区の人口は、平成 12 年と比較して 33.1%減少しており、毎年概ね 66 人ずつ減少している計算になります。（なお、市人口の平成 12 年と比較した減少率は 7.0%）
- ・ 平成 12 年の国勢調査の人口を基準とした推移及び他区との比較は別紙のとおりです。

### (2) 年齢別人口

	H17		H27	
	人口（人）	構成比（%）	人口（人）	構成比（%）
0～14 歳	247	9.5	161	8.1
15～64 歳	1,310	50.1	898	45.1
65 歳～	1,057	40.4	934	46.9
合計	2,614	100.0	1,993	100.1

※集計方法の制約上、数人程度の誤差が生じる場合あり（小地域集計の秘匿計算によるもの）。

- ・ H27 国勢調査における上越市の年齢別人口の構成比は、次のとおりです。  
0～14 歳：12.8%    15～64 歳：57.1%    65 歳～：30.1%

### (3) 世帯構成の推移

	H17		H27	
	世帯数（世帯）	構成比（%）	世帯数（世帯）	構成比（%）
単独世帯	147	16.8	149	20.9
夫婦のみ	251	28.8	194	27.2
ひとり親と子ども	68	7.8	69	9.7
夫婦と子ども	150	17.2	113	15.9
3 世代世帯	197	22.6	126	17.7
その他	60	6.9	61	8.6
合計	873	100.1	712	100.0

※集計方法の制約上、数世帯程度の誤差が生じる場合あり（小地域集計の秘匿計算によるもの）。

- ・ H27 国勢調査における上越市の世帯構成の構成比は、次のとおりです。  
単独世帯：26%    夫婦のみ：20%    ひとり親と子ども：9%  
夫婦と子ども：24%    3 世代世帯：15%    その他：6%

## 2 区内の主な公の施設

### 公民館

○牧コミュニティプラザ（牧地区公民館）（所在地：牧区田島、建築年：S50）

### 学校・保育園

○牧小学校（所在地：牧区国川、建築年：S52） R2年5月1日現在の児童数：52人

○牧中学校（所在地：牧区小川、建築年：S61） R2年5月1日現在の生徒数：28人

○牧保育園（所在地：牧区小川、建築年：H2） R2年4月1日現在の児童数：19人

### 福祉施設

○牧高齢者等福祉センター（所在地：牧区田島、建築年：S48）

### 医療機関

○国民健康保険牧診療所（所在地：牧区柳島、建築年：S58）

### 体育施設

○牧体育館（所在地：牧区田島、建築年：S56）

○牧プール（所在地：牧区田島、建築年：S45）

○牧ゲートボール場（所在地：牧区田島、建築年：H15）

### 宿泊施設

○牧湯の里深山荘（所在地：牧区宇津俣、建築年：S61）

○川上笑学館（所在地：牧区切光、建築年：H7）

### 観光施設

○牧ふれあい体験交流施設（所在地：牧区原、建築年：H10）

○牧ふるさと村自然と憩の森（所在地：牧区池舟、建築年：S53）

### 市営住宅・特定公共賃貸住宅

○市営住宅柳島住宅1～2号棟（所在地：牧区小川、建築年：H1・H2）

○小川特定公共賃貸住宅1～3号棟（所在地：牧区小川、建築年：H12・H14・H16）

○東荒井特定公共賃貸住宅1～8号棟（所在地：牧区荒井、建築年：H15・H18）

### 児童遊園

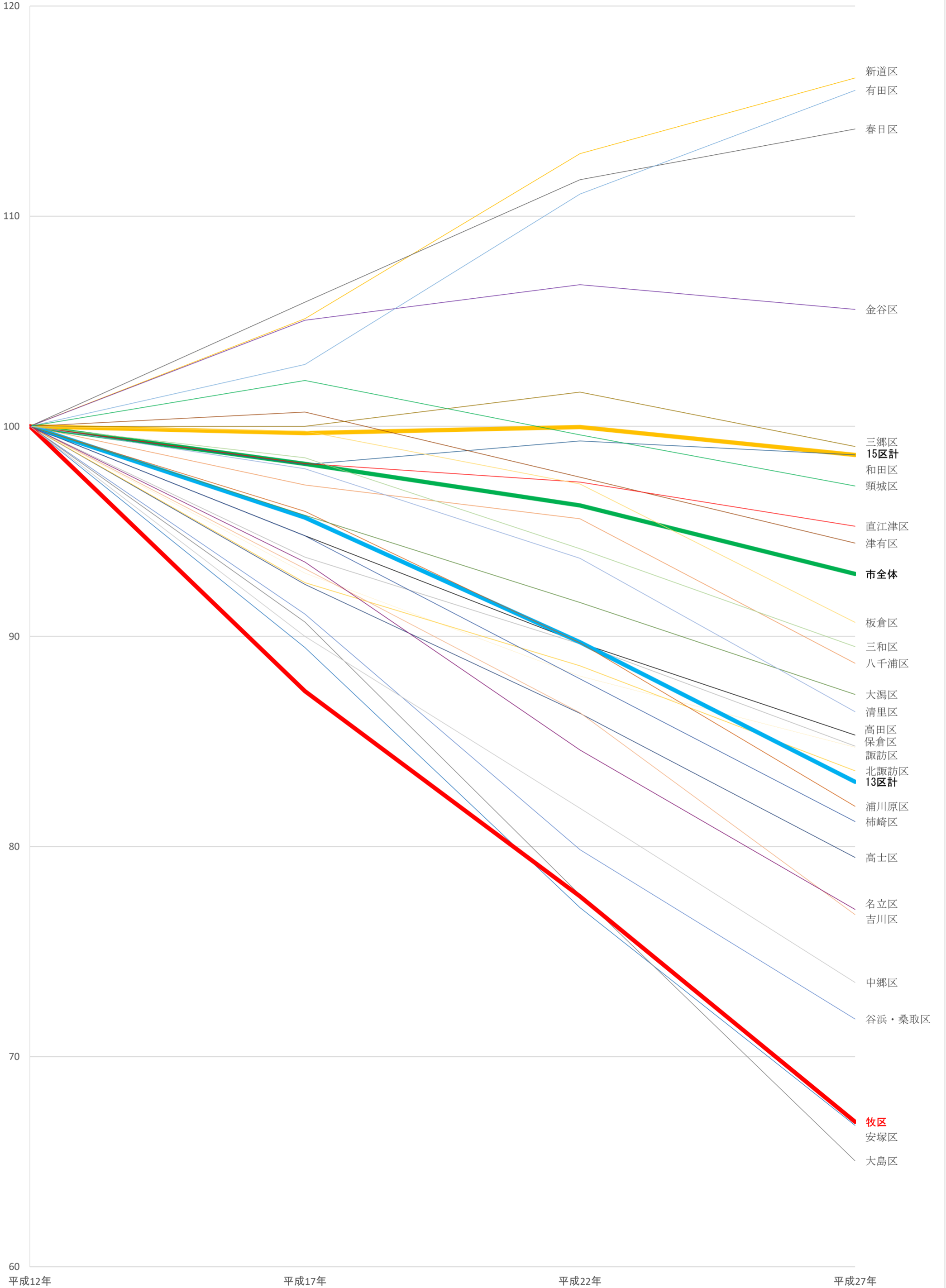
○牧児童遊園（所在地：牧区田島、建築年：H19）

○はばたきの丘児童遊園（所在地：牧区大月、建築年：S50）

### 文化歴史関係施設

○牧歴史民俗資料館（所在地：牧区宮口、建築年：S58）

平成12年の国勢調査人口を100とした人口推移



# 牧 区 の 概 況

牧区総合事務所

## ◎ 牧区の生い立ち

- ・ 明治 22 年 町村制施行により川上村、川辺村、里見村、沖見村の 4 村誕生
- ・ 明治 34 年 川上村、川辺村、里見村が合併し牧村誕生
- ・ 昭和 29 年 牧村と沖見村合併し、新村牧村誕生
- ・ 平成 17 年 広域合併により上越市に編入、牧区となる

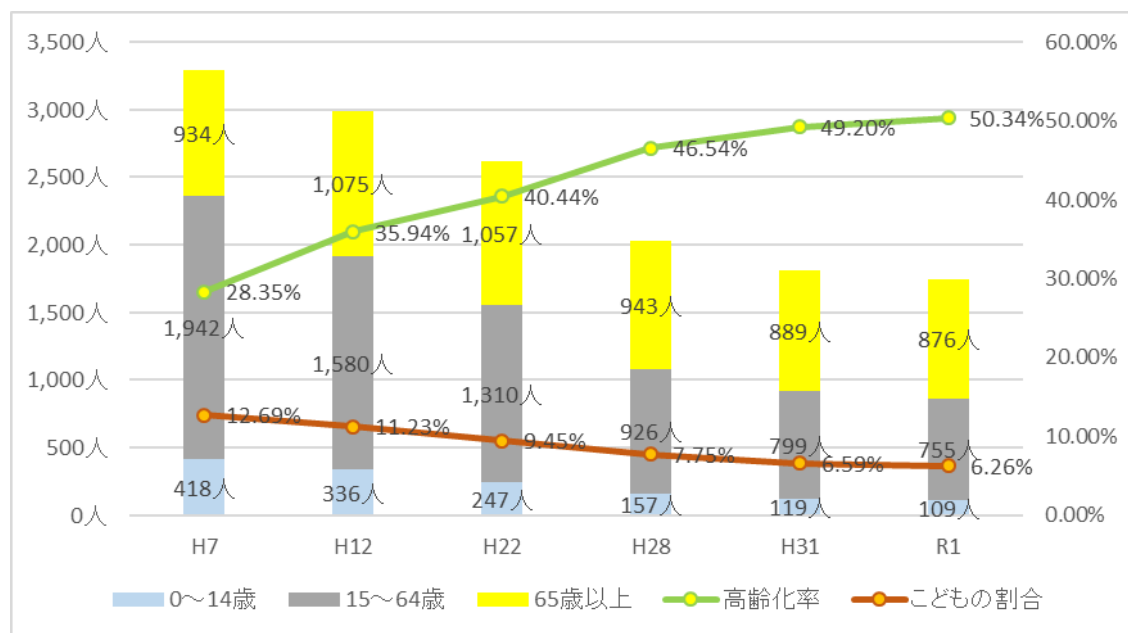
## 1 面積・広ぼう

牧区 61.35 km<sup>2</sup> (6.3%) 東西 8 km 南北 14 km 周囲 49 km  
 海拔最高 1,069m 海拔最低 60m

※上越市 973.61 km<sup>2</sup> 東西 44.6 km 南北 44.2 km

## 2 人口、世帯数等

区の人口は年々減少傾向にあり、特に生産年齢人口・年少人口が減少している。その分、高齢化率は増加している。



	H7	H12	H22	H28	H31	R2
総人口 (人)	3,294	2,991	2,614	2,026	1,807	1,740
高齢化率 (%)	28.35	35.94	40.44	46.54	49.20	50.34
こどもの割合 (%)	12.69	11.23	9.45	7.75	6.59	6.26
世帯数	927	875	812	826	781	766

出典：H22 以前…国勢調査(各年 10/1 現在)H28・H31・R2…住人基本台帳 (4/1 現在)



※参考 人口の推移

	S22	S30	S40	S50	S60	H27
牧区(人)	8,675	8,207	6,728	5,132	4,100	2,001
上越市(人)	246,306	242,498	227,512	214,309	216,348	196,987
市に占める割合						1.02%

出典：国勢調査（各年10/1現在）

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
出生数	8	9	7	6	5	3	3	4

### 3 児童・生徒数

各年4月現在：(人)

	S50	S63	H7	H19	H30	H31	R2
小学生	456	215	191	93	60	52	52
中学生	296	148	103	56	33	35	28
保育園				45	31	21	19

### 4 高齢者世帯、ひとり暮らし世帯

○ 令和2年4月1日現在

- ・ 総世帯数 766世帯
- ・ うち高齢者のみ世帯数 156世帯 (322人)
- ・ ひとり暮らし高齢者世帯数 153世帯 (153人)
- 計 309世帯 (475人)

※平均寿命(H27年)新潟県：男性80.7歳 女性87.3歳

上越市：〃80.8歳 〃87.8歳

資料：新潟県統計年鑑

### 5 産業関係

(1) 農林業

① 経営耕地面積と農家数

単位：ha

	S50	S60	H7	H22	H27	※H27 上越市全体
田	983	791	591	348	266	9,936
畑	69	49	27	17	-	313
樹園地	1	1	1	1	-	30
計	1,053	841	619	366	266	10,279 (2.8%)
農家数(戸)	1,015	867	676	289	194	4,229 (4.6%)

注：( )は上越市における牧区の占める割合

資料：農林業センサス

② 専業・兼業別農家数

単位：戸

	S55	S60	H7	H22	H27	※H27 上越市全体
専業	60	81	109	83	49	848
I種兼業	299	76	81	27	25	520
2種兼業	593	710	486	179	120	2,868
小計	952	867	676	289	194	4,236
自給農家				109	87	2,523
計	952	867	676	398	281	10,995

注：H22 調査では新たに自給的農家項目が追加された。資料：農林業センサス  
自給的農家とは経営耕地面積 30 a 未満かつ売上 50 万未満

③ 経営耕地規模別の農家数（H27 年 2 月 1 日現在）

単位：戸

	0.5ha 以下	0.5～ 1.0ha	1.0～ 2.0ha	2.0～ 3.0ha	3.0ha 以上	自給的 農家	計
牧区	33	69	60	9	23	87	281
上越市	588	1,161	1,276	445	766	2,523	6,759

資料：農林業センサス

④ 水稻生産

単位：俵

	S49	S56	S60	H2	H7	H24	H29	H30	H31
米の販売量 (牧区)	2,771	3,440	3,210	1,927	1,477	953	794	605	640

資料：えちご上越農協

⑤ 農産物販売金額規模別農家数（H27 年 2 月 1 日現在）

単位：戸

	計	販売 なし	販売金額 (万円)					
			50 未満	50～ 100	100～ 500	500～ 1,000	1,000～ 3,000	3,000 以上
牧区	194	7	93	53	37	4	—	—
上越市 全体	4,236	217	1,413	979	1,306	173	121	22

資料：農林業センサス

⑥ 家畜飼養頭羽数

	乳用牛		役肉用牛		豚		養 鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	羽数
S49				1,429				
S50			569	1,215	5	169	590	2,700
S60	1	2	160	740	2	26	160	600
H2	1	1	91	560	—	—	60	200
H7	—	—	51	350			—	—
H22	—	—	4	7	—	—	—	—
H24	—	—	2	2	—	—	—	—
H25	—	—	—	—	—	—	—	—
H29	—	—	1	11	—	—	—	—
H30	—	—	1	11	—	—	—	—
R 1	—	—	1	23	—	—	—	—

資料：家畜生産実態調査（各年2月1日現在）（新潟県農林水産部資料）

⑦ 林業

・森林面積（平成30年度）

単位：ha

	国有林	民有林	森林面積
牧 区	471	2,780	3,251
上越市	4,842	48,497	53,339

上越市資料

・保有山林規模別隣家数（平成27年2月）

単位：戸

	1～3ha	3～5ha	5～10ha	10～20ha	20～50ha	50～100ha	100ha以上	計
牧 区	114	23	7	2	—	—	—	148
上越市	1,986	488	223	84	35	2	4	2,822

資料：農林業センサス

(2) 商工業

単位：社

	14年度	19年度	24年度	28年度	29年度	30年度	元年度
建設	70	56	48	36	35	34	33
製造業	5	7	6	4	4	4	4
卸売業	0	1	1	0	0	0	0
小売業	41	25	21	16	19	19	19
飲食・宿泊業		7	8	8	9	9	9
サービス業	11	9	9	11	11	10	10
その他	1	1	1	0	0	0	0
合 計	128	106	94	75	78	76	75

## (3) 観 光

・深山荘利用者数の推移 (単位：人)

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
利用者数	14,632	12,962	12,112	11,678	11,209	11,207	10,470
うち宿泊者数	2,313	1,866	1,991	1,762	1,827	1,928	1,816

※昭和 61 年 深山荘完成 営業開始

・川上笑学館利用者数の推移 (単位：人)

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
利用者数	1,938	1,913	1,886	1,526	1,165	1,167	1,092
うち宿泊者数	371	311	377	296	362	351	280

※平成 7 年 旧川上小学校跡地に川上笑学館完成 営業開始

・牧ふるさと村自然と憩の森利用者数の推移 (単位：人)

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
利用者数	6,418	5,371	6,345	6,311	6,007	5,614	6,948

※昭和 53 年 ふるさと村自然と憩の森が完成 営業開始

・牧ふれあい体験交流施設利用者数の推移 (単位：人)

年 度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
利用者数	9,076	7,162	6,856	5,967	5,594	5,022	3,243

※平成 10 年 旧原小学校跡地に原交流研修館完成 営業開始

## (4) 最近の特産品など

- ・雪太郎大根
- ・どぶろく
- ・そば
- ・郷土料理の伝承(よもぎの会)
- ・山菜や、季節にあった地元食材の利用  
(よもぎ団子、のっぺ、おぼろ他)
- ・ぴりっ子 (原料：ししとう)
- ・いり豆
- ・すじエビ
- ・どぶろくスイーツ
- ・雪下にんじん

## (5) その他

(ア) 細縄の生産 (過去に生産量日本一)

- ・昭和 39 年頃 牧農協の指導で機械による生産が始まる
- ・昭和 44 年 生産量 16 万束全国に販売
- ※現在も少しではあるが生産が続いている

(イ) くびき牛の生産

- ・昭和 36 年 くびき牛のブランドで売り出す
- ・昭和 47 年 牧村農業協同組合が畜産コントロールセンターを建設
- ・昭和 49 年 牛の飼養頭数 1,429 頭となりこれまでの最高を記録
- ・平成 3 年 牛肉の輸入自由化により畜産農家が衰退
- ・平成 25 年 牧区のくびき牛生産農家がゼロに
- ・平成 29 年 牧区在住の近藤大貴氏（㈱荻谷畜産〔頸城区〕従業員）が牧区岩神（牧区コントロールセンター）でくびき牛生産（繁殖牛）を開始

(ウ) 工場誘致

- ・昭和 46 年 牧村工場誘致条例制定
- ・昭和 48 年 （株）建設部品新潟工場（太平洋精機（株）新潟工場）が山口で操業開始

(エ) 牧油田の開発

- ・明治 6 年 岩神で機械による井戸堀始まる
- ・明治 12 年 国川・岩神・小川の集落で 100 か所の井戸を掘る
- ・明治 33 年 下湯谷地内の井戸で石油がたくさん噴き出る。  
（1 日 21,600 ㍴） 高田まで運ぶ石油管設置
- ・明治 36 年 産出が多く、頸城油田の中心となる
- ・大正 10 年 産出量が減る。
- ・昭和 36 年 石油井戸 9 か所に減る

※ガラス工場の歩み

- ・明治 28 年頃 大量に湧出する天然ガスを利用して倉下に工場設立
- ・昭和 15 年頃～27 年頃 ガラス工場最盛期
- ・昭和 25 年頃 カクテルグラスなどアメリカに輸出する
- ・昭和 30 年頃～次第に採算が取れなくなる
- ・昭和 37 年 工場閉鎖

(オ) 棚広用水の開削

- ・江戸末期（1833 年）工事に着手  
（1836 年）下流域の人たちの反対に遭い工事中止
- ・明治 13 年（1880 年）工事再開
- ・明治 16 年（1883 年）工事完成
- ・大正 8 年（1919 年）宇津俣に棚広用水池完成

(カ) 農協の生い立ち

- ・昭和 23 年 牧村農業協同組合発足
- ・昭和 53 年 沖見農業協同組合と合併
- ・平成元年 上越市農協と合併 えちご上越農協となる

(キ) 農業の機械化の進展と圃場条件の整備

- ・農業機械の近代化
- ・昭和 33 年 耕運機の導入(それまでは役牛による農作業)
- ・田植え機、コンバイン、トラクターの導入と機械化の進歩
- ・機械化により「はさ架け」の減少
- ・平成元年頃～10 年頃まで 圃場整備最盛期

(ク) 環境問題

- ・食の安全性  
農薬・化学肥料の使用制限、放射能汚染、BSE（牛海綿状脳症）、  
口蹄疫等の病気感染
- ・生産履歴（トレーサビリティ）の義務付け
- ・輸入食品の安全性

(6) これからの牧区の産業振興方策

○牧区の課題

- ・少子高齢化と人口減少
- ・産業の担い手（後継者）が不足又はいない。
- ・耕作放棄地の増加と農地保全

○農林水産業振興方策

- ・中山間地域直接支払交付金など各種補助制度の活用
- ・環境保全型農業の推進  
(環境と調和した農業の推進、安全安心な食料の提供)
- ・6 次産業化の推進  
(農産物に付加価値をつけて販売。生産から加工・販売までの一元化)
- ・集落営農へ転換・継続  
(個人経営から組織経営へ)
- ・中山間地域が持つ多様な地域資源を活用した新たな特産品の開発と  
観光など交流産業との連携

## ◎ 牧区産業の沿革（主なもの）

- 昭和 29 年 ・ 牧村と沖見村合併 新村牧村誕生
- 昭和 36 年 ・ 宮崎ガラス工場閉鎖
- 昭和 37 年 ・ 葉タバコ栽培開始（新井専売公社指導のもと）
  - ・ 念願の牧村米 5 万俵（3,000t）売渡達成
  - ・ 上牧公団造林植林開始
- 昭和 42 年 ・ 沖見農業協同組合が神谷に放牧場を開設
- 昭和 46 年 ・ 牧村工場誘致条例制定
- 昭和 47 年 ・ 牧村農業協同組合が畜産コントロールセンターを建設
- 昭和 48 年 ・ （株）建設部品新潟工場（太平洋精機（株）新潟工場）が山口で操業開始
  - ・ 米の売渡がこれまでの最高 59,511 俵（3,571t）を記録
- 昭和 49 年 ・ 牛の飼養頭数 1,429 頭となりこれまでの最高を記録
- 昭和 53 年 ・ ふるさと村自然と憩の森が完成
  - ・ 牧村農業協同組合と沖見農業組合が合併し、牧村農業組合としてスタート
  - ・ 牧村森林組合が山菜化工場操業開始
- 昭和 54 年 ・ 牧村農業協同組合が育苗センター運用開始
  - ・ 牧村出稼ぎ者組合設立
- 昭和 57 年 ・ 牧村農業協同組合が沖見事業所に農産加工施設を建設（ぴりっ子・加工味噌製造開始）
  - ・ 葉タバコ栽培終了
- 昭和 61 年 ・ 深山荘完成営業開始
- 平成 2 年 ・ 旧高尾小学校で木原氏が「四季のこども村」開設、山村遊学を受入れ
  - ・ 牧村農業協同組合がライスセンター建設、運用開始
- 平成 5 年 ・ 冷害により農作物大凶作
- 平成 6 年 ・ 干害により農作物大凶作
- 平成 7 年 ・ 川上笑学館完成し営業開始
- 平成 8 年 ・ 牧農林業振興公社設立
- 平成 10 年 ・ 旧原小学校跡地に交流研修館完成し営業開始
- 平成 13 年 ・ 上越農業協同組合が広域合併し、えちご上越農業協同組合となる
  - ・ 森林組合が広域合併し、くびき野森林組合となる。
  - ・ 越後田舎体験事業で横浜市白幡小学校児童 106 人が来村
- 平成 16 年 ・ 「どぶろく」製造開始
  - ・ 住民自治組織「牧振興会」設立
  - ・ 農業集落排水事業に着手
- 平成 17 年 ・ 上越市と 13 町村広域合併、牧区となる

- 平成 19 年
  - ・ 上越市が特例市となる
  - ・ 牧児童遊園開園 芝生広場面積 2,144 m<sup>2</sup>
- 平成 20 年
  - ・ 牧区中央地区農業集落排水事業竣工式  
処理人口 15 町内会 467 戸、1,500 人
- 平成 21 年
  - ・ 牧区青少年育成会議「牧っこを育てる会」設立
  - ・ 深山荘ファンクラブ設立
- 平成 22 年
  - ・ 干ばつ災害発生  
連続干天日数 8/15～9/6 (23 日間) 被害面積 51.3ha
  - ・ 牧区に集落づくり推進員配置
- 平成 23 年
  - ・ 3/12 長野県北部地震 牧区震度 5 弱 避難所 19 か所開設
  - ・ 牧振興会 NPO 法人化
  - ・ 市道川西線 原橋竣工式 工期 H19～23 年度
- 平成 25 年
  - ・ 国道 405 号道路改良事業 (高津～宮口間) 島之橋竣工式  
事業期間 H1～25 年度
  - ・ 市道柳島棚田線 籠田橋竣工式 工期 H23～25 年度
- 平成 26 年
  - ・ 切光バイパス開通 工期 S63～H26 年度
  - ・ 牧区も灯の回廊に参加
- 平成 27 年
  - ・ 牧湯の里「深山荘」指定管理者へ移行
- 平成 28 年
  - ・ 全国どぶろく研究大会 in 上越 全国 100 銘柄が集まる
- 平成 30 年
  - ・ 原・白峰地区に地域おこし協力隊配置
- 令和 元年
  - ・ 猛暑 8/14 観測史上初、上越市高田で 40.3 度 (この日  
全国で 1 番を記録) 猛暑の影響を受け、米の品質低下



# 区内の主な公の施設

## ・沖見地区

- ①牧ふるさと村自然と憩の森
- ②はばたきの丘児童遊園

## ・牧地区

- ③牧歴史民俗資料館
- ④牧診療所
- ⑤牧コミュニティプラザ(牧地区公民館)  
牧体育館  
牧高齢者等福祉センター  
牧プール  
牧ゲートボール場
- ⑥牧保育園  
牧小学校  
牧中学校
- ⑦市営住宅柳島住宅1~2号棟
- ⑧小川特定公共賃貸住宅1~3号棟
- ⑨東荒井特定公共賃貸住宅1~8号棟
- ⑩牧児童遊園

## ・川上地区

- ⑪川上笑学館

## ・原地区

- ⑫牧ふれあい体験交流施設

## ・白峰地区

- ⑬牧湯の里深山荘



### 凡 例

●	公的施設
○	児童遊園
□	指定公共賃貸住宅
■	市営住宅

(1)地域活動支援事業費補助金を活用した事業 (H28~R2)

(単位：千円)

団体名	事業名 (事業概要等)	事業費	補助額	
川上地区協議会	川上集会所ステージ側土台及び土台東置換床沈下修繕対策事業			
	【H28】 …ステージ側土台修繕	538	450	
	【R1】 …コンサート開催及びステージ幕修繕	703	636	
	【R2】 …コンサート開催及び床修繕等	977	900	
屋号を残す会	屋号を活かし、地域を活性化させる事業			
	【H28】	…「屋号」の調査及び表札作成	361	320
	【H29】		440	397
	【H30】		306	276
	【R1】		278	252
【R2】	266		246	
柳島町内会	危険看板設置事業			
	【H28】 …地域の危険箇所に看板 (注意喚起) 設置	152	136	
岩神町内会	岩神城跡遊歩道整備事業			
	【H28】	…遊歩道の整備及び標識柱設置	514	400
	【H29】		318	276
上牧町内会	地域交流、歴史、番所を活かした教育広場事業			
	【H28】	…塩の道、番所整備等	524	400
	【H30】		516	450
	【R1】		305	299
【R2】	410		409	
レストハウス「けやき」周辺整備の会	沖見地区観光拠点づくり事業			
	【H30】	…旧ふるさと村レストラン「けやき」周辺整備	459	401
	【R1】		177	176
【R2】	261		260	
小川町内会	小川公園新設事業			
	【R1】 …空き地を利用した公園整備	540	540	

※イベント等の現地確認ができない事業を除く

(2)牧区内における危険箇所

①河川 (増水、浸食、溢水状況確認)		②急傾斜地 (崖崩れの兆候確認)	
1	桑曽根川周辺 (下川井沢地内)	1	宮口地内
2	川辺橋周辺 (山口地内)	2	落田地内
3	落田橋周辺 (落田地内)	3	原地内
4	宮下橋周辺 (棚広地内)	4	棚広地内
		5	宇津俣地内 (深山荘周辺)

(3)牧区内における施設 (文化歴史関係、宿泊、観光施設)

1	歴史民俗資料館・宮口古墳 (宮口地内)	5	牧湯の里 深山荘 (宇津俣地内)
2	川上笑学館・川上会館 (切光地内)	6	民宿ほほえみ荘 (宇津俣地内)
3	ふれあい体験交流施設 (原地内)	7	民宿どぶろく荘 (坪山地内)
4	ふるさと村自然と憩の森 (池舟地内)	8	ふすべ山キャンプ場 (高尾地内)

# 令和元年度 牧区地区懇談会 意見等の概要及び対応方針結果一覧

## 【開催概要】

開催日	時間	会場	対象町内会	参加職員	参加人数	意見等の数	ページ
6月26日 (水)	午後7時～ 午後8時35分	川辺南部集落センター	上牧、府殿	岩野次長、飯田班長 宮腰G長、板垣主任	16	6	1
	午後7時～ 午後9時00分	東松ノ木公会堂	東松ノ木、荒井、東荒井	山岸所長、丸山班長 宮下班長、上原副主任	5	12	2
6月27日 (木)	午後7時～ 午後8時30分	牧コミュニティプラザ	柳島、田島、下昆子	岩野次長、五十嵐班長 横田主任、宮澤主事	4	6	3
	午後7時～ 午後8時15分	檜谷多目的集会施設	小川、国川、檜谷、雨露	山岸所長、児玉班長 近藤主任、高橋副主任	18	3	4
7月1日 (月)	午後7時～ 午後8時30分	高尾活性化センター	岩神、高尾	岩野次長、野崎班長 児玉班長、松本推進員	18	2	5
	午後7時～ 午後8時30分	川辺中央集落センター	上昆子、下湯谷、桜滝	山岸所長、宮腰G長 飯田班長、横尾主任	8	2	6
7月2日 (火)	午後7時～ 午後8時20分	原集会所	棚広、倉下、原	山岸所長、丸山班長 宮腰G長、山口主任	7	5	7
	午後7時～ 午後8時00分	落田公会堂	宮口、山口、落田	岩野次長、宮下班長 近藤主任、松本推進員	19	0	-
7月3日 (水)	午後7時～ 午後8時30分	白峰山菜加工所	宇津俣、棚広新田	岩野次長、横田主任 宮澤主事、上原副主任	10	6	8
	午後7時～ 午後8時20分	沖見会館	神谷、七森、平山、大月、 平方	山岸所長、板垣主任 横尾主任、高橋副主任	4	5	9
7月5日 (金)	午後7時～ 午後8時30分	川上集会所	高谷、切光、泉、今清水、 吉坪、片町	宮腰G長、野崎班長 山口主任、横田主任	11	6	10
	午後7時～ 午後8時40分	沖見会館	坪山、川井沢、池舟	岩野次長、丸山班長 五十嵐班長	9	4	11
合 計					129	57	

令和元年度 牧区地区懇談会町内会要望等内訳

(件)

内容		担当	総務	地域振興	産業建設	市民生活	福祉	教育・文化	合計
意見	件数		8		1				9
	主な		公共交通 消防団		ガス・水道				
	内容		時間外受付 他						
質問	件数		20		2	3			25
	主な		公共交通 消防団		公営住宅	コンビニ交付			
	内容		時間外受付 防災行政無線 他		指定管理	マイナンバーカード			
要望	件数		9	3	7				19
	主な		公共交通 防災行政無線	地域振興 婚活 他	道路 公営住宅				
	内容		時間外受付 広報		農地災害				
その他	件数		2		2				4
	主な		防災行政無線		道路				
	内容								
合計			39	3	12	3	0	0	57